

マクロエンジニアリング・シンポジウム 1983-2007

- 第1回 1983年 1月31日 国際文化会館 マクロエンジニアリング・シンポジウム実行委員会主催
- 第2回 1983年 6月23日 国際文化会館 日本工業技術振興協会日本マクロエンジニアリング部会主催
- 第3回 1987年 12月12日 東京大学山上会館 JAMES 主催
- 第4回 1988年 8月29日 東京大学山上会館 JAMES 主催
テーマ:太平洋におけるマクロプロジェクトの可能性
- 第5回 1989年 8月18日 学士会館 燃料協会、緑の文明学会、JAMES 共催
温室効果問題を考える
- 第6回 1990年 8月8日 東京大学山上会館 燃料協会、緑の文明学会、JAMES 共催
未来地球システムの構築
- 第7回 1991年 8月9日 金属健保会館(金属ホール)JAMES 主催
国際シンポジウム'91「日米共通のフロンティアを求めて」—ゼロサムからプラスサムへ—
- 第8回 1992年 7月29日 学士会館 JAMES 主催
国際シンポジウム'92 日中関係の将来:地球環境保全と開発の同時実現をめざして」
- 第9回 1993年 8月24日 東京大学山上会館 JAMES 主催
国際シンポジウム'93「日本—EC間 21世紀輸送システム」の形について
- 第10回 1994年 8月11日 東京ガス(株)、日本統計学会、緑の文明学会、JAMES 共催
テーマ:エネルギーと環境
- 第11回 1995年 7月25日 オリオンビール(株)名護工場講堂
沖縄県海洋深層水利用推進協議会、(財)沖縄農林漁業技術開発協会、SDFG 研究会、南方資源利用
技術研究会、沖縄県、(株)トロピカルテクノセンター、JAMES 共催
沖縄記念大会'95「サステイナブル・デベロップメント・グリーンフィールドシンポジウム」
- 日本マクロエンジニアリング学会創立 10周年記念シンポジウム
日 時:1995年 11月30日(木)10:00~17:00
会 場:学士会館 講堂
高付加価値情報・物質 発信・受信基地としての「日本型ハブシステムの提案」

- 第 12 回 1996 年 9 月 2 日 学士会館分館
日本学術協力財団、SDDF 研究会、日本沙漠学会・沙漠工学研究分科会、JAMES 共催
熱帯生態系を考える
- 第 13 回 1997 年 8 月 4 日 学士会館分館 JAMES 主催
「循環型社会の構築に向けて」ーマクロエンジニアリングに何ができるかー
- 第 14 回 1998 年 8 月 3 日 立正大学経済学部 341 号室 JAMES 主催
「ごみをマクロに考える Part II」ーごみ処理はだれの責任かー
- 第 15 回 2000 年 3 月 8 日 東京工業大学百年記念館 会議室 JAMES 主催
アジアの海洋境界問題ー理論的画定構造と実状の解析
- 第 16 回 2000 年 8 月 22 日 早稲田大学国際会議場大ホール JAMES 主催
国際環境協力
- 第 17 回 2001 年 9 月 21 日 学士会館本郷分館 8 号室
21 世紀のマクロエンジニアリング
- 第 18 回 2002 年 11 月 9 日(土) 環境パートナーシップオフィス EPO
テーマ:食の自給と環境のゆくえ
- 第 19 回 2003 年 5 月 8 日(木)～10 日(土)ザ・プラトンホテル(三重県四日市市)
The 4th Asia Pacific Conference on Energy and Environmental Technologies:APCSEET 2003
- 第 20 回 2004 年 10 月 19 日(火) 三井物産(株) 地下会議室
水素循環型社会システムの提案～水の惑星「地球」を大切に
- 第 21 回 2005 年 11 月 26 日(土)学士会館本郷分館 6 号室
循環型社会を考える
- 第 22 回 2006 年 12 月 21 日(木)(財)電力中央研究所(狛江)会議室
ポスト化石エネルギー時代
- 第 23 回 2007 年 12 月 4 日(火)拓殖大学国際教育会館
食糧問題ー食糧自給の是非を問うー